

令和5年度 西砂学習館運営協議会（令和5年9月）会議録（案）

日 時：令和5年9月14日（木）午後6時00分～午後8時15分 （敬称略）

出 席：大槌 内金崎 小笠原 長谷川 杉之原 岩元 小林 森 広瀬

欠 席：加藤 能村 増田

傍 聴：無し

事務局：高野 田中 俣本

1 開会のあいさつ

大槌：現在の学習館は外から見ると要塞のよう。室内はLEDになり明るくなった。暑い日が続く雨も多い。コロナウィルス感染やインフルエンザが微増で予断を許さない。健康に気を付けて過ごして頂きたい。

2 中規模改修工事について

- ・工事の進捗状況について 9月11日現在
- ・今後の予定について

高野：メインの工事は屋上、外壁。雨漏りの工事部分が大きい。内装工事は行わないが、雨漏りの染みは予算と工期により行う。現在工事が入れ代わり立ち代わりしている。図書館は9月21日から11月20日まで休館。1階の工事に伴い、1階ロビーのエアコンが使えなくなる。その為コンパクトエアコンを1台借用した。1階ロビーの新聞を読む場所は一時的閉鎖する。工事の進捗によるが学習室はできるだけ開放したい。今後大きなクレーン車も入る。

3 令和5年度地域活性化講座について

（1）「西砂サマーイベント～」に報告について

	午前	午後	参加者
7月25日 （火）	お楽しみ クッキング 地域運営協議会	竹で作るけん玉 （大根田先生）	12名
7月26日 （水）	お楽しみ クッキング （多摩立川地域活動栄養士会間宮先生）	お手玉体験 （お手玉サークルの皆さん）	8名
7月28日 （金）	お楽しみ クッキング （多摩立川地域活動栄養士会間宮先生）	ボッチャ、モルック （西砂川地区体育会）	10名
		皿回し（樋口先生）	

高野：皆様のお力添えで無事に終了。工事の関係で参加数は少なかった。モルックは西砂地域での重点スポーツなので他の機会でもできたらと思う。面白いスポーツだっ

た。クッキングは森委員ありがとうございました。西砂産直売会から新鮮な野菜を頂いた。会長からの報告書は次回配布したい。子ども達も生き生きしていた。今後のサマーイベントについて検討したい。

大槁：今年度は学習館の改修工事の為1週間に3日行った。運営自体は大変だった。今年から松中小では放課後拡充型子ども教室が始まり、長期休みも居場所があった。西砂小は空き教室の関係で無い。参加者数は去年に比べて少なかった。

広瀬：このような状況の中でよくできた。見直すには良い機会。サマーイベントはできるだけ学校では体験できない内容に広げていけたらと思う。

内金崎：クッキングについて。包丁を使う時、指が危ない場面があり大人が付いていなければと思った。参加者は少なかったが企画はとても良い。西砂小で放課後拡充型子ども教室がないなら、続けることは大切。

小笠原：放課後拡充型子ども教室は直接的に大きく影響はしていないと思っている。コロナが5類になり子ども達の活動の場が広がっている。児童館でも夏休み前は盛況だったが、夏休み中の子どもの来館は意外にばらけていた。子どもの居場所が広がったと捉えた。お盆期間は児童館学童ともに子どもも大人も減る。外しても良いと思うが、そこですら出かけられない子どももいる。人数は少なくとも毎週開催の従来型が良い。

長谷川：放課後拡充型子ども教室「くるプレ」に参加している子どもでも週1回違うものをやりたい子はサマーイベントへ来る。今年はイレギュラー。午前中お楽しみクッキング、食事、午後はイベントの流れだった。いつもは午前中に講座、食事、イベントでばたばたしていたが、今回は皆で調理をしてそのまま食事をしたので子ども達も余裕があった。

杉之原：サマーイベントには出席できなかった。秋は西砂川地区文化祭に子ども達にも来てもらう計画をしている。

岩元：25日に参加。今回3回がクッキングだった。初日の森先生の指導に感動した。対象を小学3年生以上にしたので子どもの能力、発達段階に応じてできた。対象を1年生から6年生に感じていた難しさがクリアできた。学年制限したのは良かった。大根田さんのけん玉は子ども達が楽しんでた。課題は、子どもの居場所。サマーイベントの参加者は居場所が無くて困っている子どもではない。

大槁：課題ではある。拾いきれない子どもはまた違う観点でお話できればと思う。

小林：サマーイベントは体調不良でお休みさせて頂いた。

森：小林委員がどれだけ大変だったかと身をもって知った。無事に1日目のクッキングを終えてほっとした。メニューはおにぎり、豚汁、ラタトゥイユ、ヨーグルトブルーベリー等を作った。作業内容は低学年と高学年に分けた。ごはんをお握りにした。自分で食べられる分を作ったので廃棄も少なかった。28日のお楽しみクッキングでは心配な男の子がいた。その子が手を少し切ってしまい、みるみる顔が青ざめてし

まった。今後見る側としてどこまで責任を負えるか感じた。午前からお昼の流れはゆっくりと時間を持ててよかった。過去では盛りだくさんな内容に疲れてしまう子どもも何人かいた。ボリュームを落とすことを考えることも大事。

大橋：クッキングの講師は初めて間宮先生に依頼。午後も、今まで取り組まなかったモルック、皿回し、お手玉等で視点、人との繋がりが広がった。知らない世界を知ることができて良かった。西砂サマーイベントは生涯審で良い取り組みと評価頂いた。地域学習館は6館ある。立川の取り組みとして各館でサマーイベントを実施し、少しでも子どもの居場所を確保できたらと思う。ノウハウは積み重なってある。どこかで情報交換し、1館でも取り組んでくれたら素晴らしい。岩元委員がお話する子どもの居場所もどこかで考えなければならないと思う。

サマーイベントは来年度も継続し週1回の実施で取り組む。参加人数が少なくても来てくれる子どもがいれば取り組むのが良い。

広瀬：西砂産直売会の代表の方にお礼を伝えた。野菜の寄附は嬉しいが、各農家から野菜を取りに集めることが大変と話していた。

大橋：集め方は私達で対応可能。

長谷川：お手伝いに来た実習生は素直で一生懸命手伝いをしてくれた。

広瀬：子どもは若い世代が好き。

(2) その他

・令和6年度に向けて

大橋：12月までに実施する講座はどう考えれば良いか。

高野：各教室は1月からは元に戻る予定。

大橋：ウインターイベントが改修工事後初めの講座になる。

岩元：防災関係の講座も検討が必要。

大橋：会場を西砂学習館に固めると難しい。

岩元：立川には素晴らしい防災館がある。自治会に入らない若い世代がいる。現地集合で、「立川防災館を探検しよう」という親子向けの企画をしても良い。

大橋：市内小学3年生は学校で行っている。

広瀬：他館の事業を見て、西砂エリアの特性を生かして講座の企画をしても良い。

岩元：ウインターイベントは1月に行うか。

小林：サークルメンバーは主婦が多いので暮れと正月は難しい。メンバーは最低でも5名は必要。

大橋：人がいなければネットワークを活かして他館の書道サークルにも声をかける。

小笠原：パントリー事業を学校等供用施設で実施した。学供を知らない親子がいた。学習館だけではなく、学供で開催するのも1つのやり方と感じた。

岩元：サマーイベントでは間違えて児童館へ行った子どももいた。天王橋会館は一番町、

西砂会館は西砂町にある。サマーイベントの会場を2か所にしても良い。

大橋：活動の拠点を西砂学習館だけでなく広げると活動の幅も広がる。

岩元：どのような講座や活動をしていたのか資料が欲しい。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局まで。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

- ・地域学校コーディネーターとの情報交換会について
- ・7月31（月）開催 報告について、別紙のとおり

高野：会議録で報告とさせて頂きたい。

(3) 「西砂学習館まつり」の準備会について

- ・第42回まつり報告について

*準備会予定 11/8、11/15、11/29 いずれも水曜日・午後1時30分から

*展示、舞台発表会、催し物等について

(提案) 中規模改修工事が10月終了時順調であれば、ほぼ建物内の9割終了予定。

できれば、利用者懇談会を兼ねた開催としたい。

高野：今までの成り立ちも含めて再考したほうが良いと話があった。11月に祭りの方向性を作りたい。11月で工事がひと段落する。工事の状況を見て感想を頂き報告会ができたと思う。オストメイトは簡易オストメイトがつく。2階の廊下に空調が入り、陶芸が電気式なる。

岩元：利用者懇談会と準備会と違うのか。全部の団体が集まるのか。

高野：30分を工事の進捗報告、後半を準備会のお話にしたい。全部の団体が集まる。

田中：本来は2月に1回目を行うが、その前に準備会をやることになった。

高野：通知は10月に行う。

(4) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

広瀬：地元に50年位住んでいる。住宅開発が始まっている。西砂に新しい住人に気持ち良く生活してもらいたい。どうしたらいいか地運協の1つのテーマになる。

内金崎：地域体操クラブという事業がある。「立川体操」を講師から3か月レクチャー受け自主化する事業。この地域は一番組公会堂を会場に11月10日から2月9日毎週金曜日を予定。4月に地運協でご挨拶させて頂いた地域福祉コーディネーターの熊木は10月1日で退職が決まった。

長谷川：問題点はあったが4年ぶりの松明祭りが無事に終わった。雨が降る前に松明を回

せて良かった。地域学校コーディネーターとしては2年生の地域探検の場所を探している。訪問先が少なくなっている。西砂学習館は対応可能か。青少健では中学生主張作文の選考会を行った。

高野：対応可能。たましんランドもある。

長谷川：駐在、保育園、児童館、ローソン、カローラは行っていた。

大槁：学校の内容が分かり、何が必要なのかの情報が聞けるようになりネットワークの大切さを実感する。話をしてくれることがありがたい。

杉之原：西砂川地区文化会ではカラオケ大会を8月に実施。11月は文化祭を予定。別件で、団地の公園内でテントを張りバーベキューをしている家族がいて対応に困っている。松中小通学路にスズメバチの巣ができていた。松中小副校長先生が駆除してくれた。

岩元：地域学校コーディネーターとして、学社一体についてまだ浸透していないのを感じている。生涯審に盛り込み計画ができたと思う。NPO立川ニューカレドニア交流支援ネットワークの顧問をしている。ニューカレドニアから18名の子どもが立川に来た。7中学区から2家庭が受け入れてくれた。地域でこのような機会を経験する子どもが増えたらと思う。地域学校コーディネーターとしては、担当の先生から工業会3社に連絡、1社は先生が直接訪問をした。

小林：今年88歳。体は弱ってくる。少しでも長生きし皆と会えるように気を付けたい。

森：西砂パソコン倶楽部は8月が夏休み、9月も休み。先日はジョナサンでお茶を飲みながら活動をした。来年1月までの内容が決まった。3月は団体企画型講座を予定。サークルの公式LINEでは一斉に連絡を取れる形にした。11月7日から9日まで「パソコン講座 Word 入門」を予定。

娘が5年前にロンドンで仕事をして縁ありイギリスの方と結婚し去年子どもが生まれた。来月ようやく会える。今から準備万端で頑張ろうと思う。

俣本：交流クッキングの申込が始まり、既に定員近い申し込みがある。西砂寿教室は9月28日にバスハイクで鎌倉へ行く予定をしていた。申込者が14名と少なく残念ながら中止になった。

田中：機械室のスペースについて、棚の制作を考えている。市長選で使った材木を50本頂き再利用して作る。ウインターイベント、サマーイベントに向けて、木工作品を作っている。また大根田さんとコラボでできたらと思う。

高野：今後サッシの工事を控えているが、サッシが届いていない。8月5日のクラシック入門講座では最後に工事の音が入ってしまった。松明祭りに初めて参加。地域のお祭りを実感した。次回の地域学校コーディネーターの情報交換会は12月実施を考えている。

大槁：中学生の人権作文を今読ませてもらっているが、特に立川第七中の生徒の作文を楽しむにしている。日頃の指導もあって、作文力が高いので読み応えがある。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、10月17日（火）18：00～

＜配布資料＞

- ・〈資料1〉7月地域運営協議会概要（案）
- ・〈資料2〉きらり・たちかわ 令和4年度報告
- ・〈資料3〉7月地域学校コーディネーター情報交換会概要（案）
- ・〈資料4〉第42回西砂学習館まつり報告